

第7回議会報告会「議会への意見等募集」結果

I 広報活動

No. 1

市民として議会報告会を開催していますが、意見交換会などがあってもいいと思います。

No. 2

議会報告会が開催されることを願っています。

No. 3

議会の傍聴いつまで停止するのか？

No. 4

議員個々の業務成果を月次報告してほしい。

II 広聴活動（地域・生活課題）

No. 1

一昨年東京から自然豊かなこの地に魅了され引っ越して来ました。

見物海岸の近くで毎日犬と散歩に行ってます。

引っ越す前に見物海岸はバーベキュー禁止となっていたので、犬を連れての散歩も安心と
思っていました。

今年はコロナで海岸が封鎖されていましたが、一昨年の夏はあちこちでバーベキューをし
てました。

ゴミは散らかし放題、もし腐ったお肉を犬が食べてしまったら……

バーベキュー禁止の看板が見にくくなっております。

是非大きな看板を設置して頂きたい、宜しくお願い致します。

No. 2

当区内には戦前からと思われるコンクリート柱が11本あり、いつどのような経緯で立ったの
か不明です。前区長からの引き継ぎで市建設課に解体撤去の御願いを7月に写真付きメール
送信しましたが電話で「赤道」ですとの回答しか頂けませんでした。

しかしながら付近住民は、自衛隊基地開設以来生活道路として利用しています。このコンク
リート柱の一部は腐敗が進み鉄筋が見える物も有り大変危険な状態ですので市で出来ないな
ら県とか上部組織に検討して頂きたいと思います。近年自然災害等も多く住民は不安を抱えて
いますので一日も早く撤去する方向で検討して頂きたいと思います。

No. 3

館山市の予算割り振りについて

通常一般企業が業績を順調に上げていくためには、差別性優位性を保持するため継続的な投
資が欠かせません。

差別性優位性とは

①人への投資です。

企業の成長は、人が育った分しかできないと言われていています。これは市役所も同じことだと思いますので、効率効果を向上させる意味でも必要不可欠だと考えています。

②観光資源への投資

館山市の最大の観光地資源はなんといっても恵まれた自然環境です。

この豊かな自然をさらに磨きあげるためには、継続的な維持活動のための費用(私は投資と考えていますが)を投入する必要があります。清掃活動はボランティアの仕事として位置づけてはなりません。機材や資材を投入し、維持向上させていければ、さらに観光客の集客や有害鳥獣の抑制にもつながっていると考えます。

例えば、海岸清掃ですが館山市の管轄地域と千葉県管轄地域が分かれています。観光客にはその区別がつかずすべて館山市と認識をしています。また1番恩恵を受けるのは館山市です。縦割り行政を意識することなく、自分事のように考え行動することが大切だと思います。

No. 4

縦割り行政の仕組みの改善

現在縦割り行政のしわ寄せは市民へのサービスの低下を招くだけでなく、コストや費用の増大にもつながっています。

ぜひこの垣根を取り払い風通しを良くしていただきたいと考えています。

今後ますます少子高齢化に伴い館山市の人口減少も歯止めがかからないことが予測されます。予算は無限にあるわけではありません。ぜひ考慮していただければと思います。

No. 5

ボランティアセンターを作って欲しい。

善意ある市民が活躍できる切っ掛けを与えて下さい。

No. 6

以前より高速バスの発着所について疑問がありました。何故、民間バスと高速バスの待合所が同じなのでしょう？

待合所のスペースが狭いにも関わらず、複数の路線の発着所が同じなので待合所が密になっています。

そこで提案なのですが、高速バスと民間バスの発着を別にしたらどうでしょうか？高速バスは他の地域の人が利用するので、海の見える西口から発着したほうが良いと思います。観光を売りにしているのに館山の海を見られないのはもったいないと思います。

また現在は民間のバスが通る道を高速バスも通っていますが、特に法務局などの通りは道幅が狭く車体の大きい高速バスが通ると歩いていたり自転車で通っていると怖いです。

高速バスを西口発着にした場合、バイパスから海岸まで下り駅まで館山の綺麗な海の景色を楽しむことができます。道幅も広いので歩行者も安全だと思います。

他にも館山駅バスの待合所は天井が剥がれて雨漏りがするようなので修理が必要だと思います。柱もヒビ割れしていて耐震強度が心配です。

バスを待っている時に地震で倒壊するなど、人命に関わる事故になる可能性もあります。

長くなりましたが、以下のことを提案させていただきます。

- ・高速バス発着場所の待合所の修理

地域間幹線系統確保維持計画に Suica 導入について意見を送らせていただき現在検討中と回答をいただきましたが、以前バスの中で他地域から来た方に「Suica は使えないのですか？」と聞かれた事がありました。都会では公共の乗り物で Suica が使えるのは普通のことだと思うので、使えないと驚いた様子でした。

観光を売りにしている地域として、なるべく早めに導入をした方がいいのではないかと思います。

ご検討のほど、よろしくお願い致します。

No. 7

◎館山市民に向けた市政報告会を！

- ・市政については、広報紙や市議会の質疑等で知ることはできるが、「ああ、そうなのか」と一方通行で、市民サイドからはうなづくだけという状況かなと思う。…そこで…

○例えば…年に一度でも、より良い時期を見つけ、市民の方々が多数集まれる会場で報告会を開いてはどうか。

1. 市政にたずさわる側が自己評価をし、市政の現状と実態（良さや課題等）を市民に理解してもらおう。そして…
2. 市民に公約した事、約束をどのように果たすのか、市政にたずさわる者の責任と覚悟を示す。
3. 市民との距離を縮め、共感を得て、市民と一体となった市政造りが期待できるのでは…。

※小さい子が、安心して遊び、過ごせる場所があればいいですね。子ども時代を大切に！

No. 8

○若者離れ、高齢化により地域の衰退を感じる今、企業の誘致の動きはあるのでしょうか。前向きに取り組んでいただきたい。

No. 9

○「食のまちづくり拠点施設」の開業をこころまちにしている1人です。

提案者の高く評価された点の中に、“地域との関わりや連携による地域産業への貢献性”とありました。議員の方々には、地域の方々の実情把握や意見、要望を聞きとりまとめる窓口となり、地域に根づいた拠点としていただきたい。

No. 10

子育て支援をもっと充実してほしい。

No. 11

「六軒町のサイカチの木」の館山市指定天然記念物への再指定のお願い。昨年令和2年3月に指定解除されたあとも、倒木した状態とはいえ現存していること。また再生に向かって新芽が確認されていること。近隣住民からも保存を熱望されていること。以上を踏まえ、再調査お願いできないものか。台風被害の記憶、また館山市復興の象徴として重要な文化財ではないでしょうか。個人敷地内・個人所有物でもあるので、一般市民では保存活動に限界があり、館山市議会での議題として取り上げて頂けたら幸いです。よろしくご検討のほどお願いいたします。

No. 12

いつもお世話になってます。障害児の福祉利用の1割負担が館山市では支援してもらえてますが、公平性と持続性を考えると南房総市と同じように上限5000円、1割負担してもらい、それを施設と職員の維持のために使ってもらう事は出来ないでしょうか。

No. 1 3

市の大事な資料、図書、など捨てられると困る物は城山の方に移して管理し、図書館、渚の駅など完全民営化したらどうでしょうか。あと教育に力を入れないと、子育て世代は出ていき、都市部との差は開くばかりだと思います。

No. 1 4

多目的栈橋の入り口付近にジュースの自販機が

ありますが、その自販機の横や裏側に空き缶が散乱しています。ごみ箱を設置すると、色々なゴミを捨てられてしまうから？設置していないのかも知れませんが、あまりにも汚いです。やはりごみ箱を設置して、定期的に自販機の業者さんに回収してもらうようにできないでしょうか？先日、私が職場で面倒を見ている障がい者の子が、マラソンしている時に気がつき、一度家に帰り袋を持って行き拾って来たそうです。日頃から目配り、気配りしてゴミなど落ちていたら拾うんだよと教えていたからです。散乱している写メも撮って来てくれますが、ここに添付するところがないのですね。その子のためにも是非一度ご検討頂けると嬉しいです。

No. 1 5

海岸通りの歩道を自転車も通行可能な道にして頂きたいです。中高生の通学路でもあり、通勤や買い物などの利用も多く、また観光者にレンタサイクルで沖ノ島までなどとPRしているのにサイクリングロードがなく、海岸通りは縁石がずっとあって道路も狭くとても危険でもあります。また脇道からの車が優先なのか？歩道側に段差があります。脇道の車を一時停止させるたにも車側に段差があるようにして頂きたいです。

No. 1 6

館山市で働く人の平均年収を200万円アップするような経済支援や対策が必要。

子供が生まれたら1000万配れるような対策。

土木建築企業ばかりにではなく幅広い分野の経営が上手くいくような支援をしてほしい。

優良ホワイト企業の誘致が必要。

上記の経済対策が軌道に乗るまでは、家賃などの固定費をもっと安くし市民生活を支える政策を。

各地域の市議会議員は、もっと自分の選挙区の経済が豊かになるような対策を。

No. 1 7

一昨年の、台風15号の検証をもっとキッチリ、他の地域での被災地支援に資する知見を集めたい。

・災害ボランティアセンターの運営に関して、応援社協職員/社協職員外の支援者数と各日程を把握する必要がある

早期に災害ボランティアセンターを閉める事態となったのは、台風19号での被災地に社協職員を取られたためであると、

それなりの経験値が有る災害ボランティアである私は評価している。

・各地の被災地で、社協運営のボランティアセンターと、社協運営では無いボランティアセンターで対立と、対立の隠蔽が見られる。

館山市の実態を検証して、次の他の被災地に役立てたい。

・厚生労働省や、全国社会福祉協議会は、被災地社協による災害ボランティアセンターの単独運営を主張し、

内閣府はNPOやボランティアも参画した「3者連携」と推奨しており、そもそも縦割り行政がある。

中央から「運営支援」に入ることと、現地社協が主導権を握るべきと、これまた指示命令系統...ないし「意思決定系統」が定まって居ない。

熊本地震の益城町では、被災地社協職員が土下座して場を収める（本当は収まって居ない）と言う一件も報告されている。

このような事情を鑑みて、館山市なりの見解を聞きたい。

・ブルーシート張り、重機、チェーンソー、床上げ等（破壊作業）、もぐら（床下に潜っての泥だし）は社協災害ボランティアセンターでは

危険度が高い（後に大工等からクレームが来る）としてご法度としている運用が多い。

館山市としては、台風15号に際しどう判断したのか？

以降、どう判断するのか？

・上記のような情報を発出することを「被災地責任」と表現したり、被災→検証→防災/減災を「災害サイクル」などとも言います。

・災害ボランティアセンターの運営に、館山市職員の応援が可能なように考えたとのことであるが、

館山市民、あるいは館山市民外のボランティアも参画できるように検討いただきたい。

必要であれば、私がお手伝いします。

・避難行動要支援者の個別避難計画の策定に、¥7000が支給されることとなった。

福祉業界では、昼の担当者と夜の担当者が違うとか、「災害対応に知見が無い」とする消極回答も聞く。

外部識者/希望者の方も入れるなどして、早期に個別避難計画を策定するべきと考える。

・上記の「個別避難計画」を考えるに、介護タクシーなどの移送業者の導入、一般向けのタクシー、バス事業者の検討が必要。

また、認知症者に至っては、避難判断の支援も必要であろう。

行政は呼びかけるのみで、判断主体は住民というのを改める必要があるようにも思えます。

・災害対策基本法が改正され、風水害等の「予防避難」（事前避難）では福祉避難所（福祉避難室）の先開設（同時開設）となりました。

該当避難者が避難してこないことも考えられますが、個別避難計画をしっかりと立てて「敬老」的に運営したいとも考えます。

・館山市は観光地でもあり宿泊施設が多いです。

福祉避難所の検討を進めると同時に、南関東地震等での「広域避難」も考えたいです。

No. 18

・交流人口、関係人口を増加させたいです。

・地域おこし協力隊、「地域おこし企業人」に関心があります。

総務省に聞くと「提案的」に意中の行政と調整する方法もあるとのこと。

できれば、館山市さんに赴任して、いろいろお手伝いしたいです。

No. 19

館山市政の違法や不当行為に対する市議会の監視

1、無資格産業医との契約について

市が無資格者と産業医の契約をすることは、理解できないし、不思議である。

館山市役所の職場環境について9年間もの長期にわたり、産業医の資格がない医師が産業医の業務にあたってきたとのこと。なぜ、このようなでたらめが起きるのでしょうか。

当時は39名の産業医有資格者がいたとのことだが、この中から契約相手を選べば、問題は生じない。なぜ、館山市は安房医師会の推薦によったのかである。また、安房医師会は、産業医の資格のない医師をなぜ推薦したのかである。

市長や当局は、議会には産業医の資格について虚偽の答弁をしてきたという。虚偽の答弁はどのような経緯で、だれの指示と責任でなされたものなのか、その事実関係はどのようなのでしょうか？

安房医師会の推薦に全幅の信頼を寄せた結果、市は資格の有無の確認を怠ったということだろうか。事実関係を明らかにし、責任を明確にし、責任あるものは処罰すべきです。

議会も、その間、市長ら当局による「産業医資格を有する」との虚偽の答弁を信用してきたという。結果として無資格者との契約を9年間も許容したことでは議会にも責任があります。事実とすれば、議会は見過ごしてきたことになるからです。議会は市政監視を怠っていたということです。したがって議会の責務は事実関係を調査し、問題を具体的に明らかにし、市民の抱く疑念に対して、調査結果を公開することではないかとおもいます。それがなければ、市だけでなく、議会もまた違法状態を見過ごしてきたものとして、その責任が問われるものとおもいます。

2、館山市役所の職場環境について

産業医資格の上記の問題は、職員の自死事件があり、その遺族側から無資格産業医との指摘をされて初めて露見したことのようだ。この指摘がなければ、さらに違法状態は続いたと危惧されます。

館山市役所の職場環境はどうだったのでしょうか、一部の職場で過重労働等が日常化し、ノイローゼ状態からついには自殺者がでたということなのか、過重労働はそれ自体をなくすべきだが、やむを得ない条件があったとしても、産業医が適切な診療やアドバイスができなかったのか、だとすれば、他にも労働安全上、違法或いは不当な職場環境が長期にわたって放置されているのではないかと危惧するがどうなのでしょうか。

市役所職員がその仕事に誇りをもち意欲的に働ける労働環境をどう実現するのか、議会は職員が誇りをもって、仕事に努めることができるよう職員の声に耳を傾けるべきではないでしょうか。

3、産業医報酬の返還請求等について

①産業医報酬についてはその資格がなかったのであれば、市は当然返還を求めたと思うがどうなのでしょうか？

②「産業医の要件を満たさないが、それと同等の行為をしていたから・・・」という理由はなりたつのでしょうか？それが成り立てば産業医制度の根幹を無視し破壊することになると思うが、厚労省の見解はどうか確認しているのでしょうか？確認していればその内容はどうかでしょうか？

③産業医は毎月職場を視察して、労働者の健康状況について報告をするがどのような報告があったのでしょうか。また、労働者の健康について勧告することができるが休業者が30人もいたり、長時間労働が常態化しているにもかかわらず、どのような勧告を市長にしていたのでしょうか、なければならないとして、またあったとすれば個人のプライバシーを除いて、その内容を公開すべきではないでしょうか。

No. 2 0

議会とはあまり関係ないかもしれませんが

環境センターの自己搬入時に本人確認書類を提示しないで、搬入させてしまうのは市外からのゴミも搬入してしまうので、搬入時に受付で本人確認書類を提示した方が良いのではないかと思います。

No. 2 1

市内の耕作放棄農地を行政が差押え、企業に賃貸又は販売（特例処置）して大規模に活用（農地として）できるようにできないか。

上記活用の1つとして木質バイオマス（燃焼系）や発酵系バイオマスの原料生産に利用し、自家クリーンエネルギー産出をする。

市内各地区で産生する太陽光等のクリーンエネルギーを現地で消費する仕組みを構築できないか。災害等による電気切断を防止するため。

No. 2 2

中里地区ですが、朝の時間帯 Am8:00～Am9:00 頃までの時間帯で犬石青年館から金蓮院までの間、道幅が急激に狭くなります。多くの通行車両のほとんどは安房支援学校及び中里の家・ワークに通勤車両です。他に支援学校の大型送迎バスが往来します。危険な区間ですので、道路にペイント等危険予知対策お願いします。（急カーブを知らせるペイント等検討願います）現在は暗黙の了解で停車し一台ずつ通行の状態ですが、通勤に急ぐ車両は無理やり進んで来る車両も在ります。

支援学校生徒が通学道路に使用してます。

夕方の帰宅時間帯 Pm5:00 から Pm6:00 も同様です。

No. 2 3

企業誘致、出来れば製造業に取組んでほしい。

No. 2 4

東京・神奈川へのアクセス向上に海上交通への展開を推進したらどうか？

No. 2 5

【GIGA スクールについて】

最近、新聞紙上に GIGA スクールの課題が掲載されました。ネット利用について、学校での情報教育だけでモラルの育成ができるのでしょうか。特定の子どもへの誹謗中傷や嫌がらせの道具になってしまった事例がすでに起きています。このようなことを防ぐため、早急に対策

が必要ではないでしょうか。

No. 2 6

【引きこもり・ニート対策について】

小中学校の不登校については、十分な成果があるかどうかは別にして、支援する機関があります。高等学校についても、南房総市は支援を広げたと聞いています。学校教育を終了した18歳以上の社会生活に不適應を起こしている青少年に対する支援をもう少し強化する必要があるのではないのでしょうか。民生委員等、個人と地域社会をつなぐ役割の方々は何をどのように進めることが必要なのか、アドバイス（コーディネート）できる機関や人が必要だと思います。館山市としても若者サポートステーション等との連携はあるのでしょうか。この事に対する取り組みを教えてください。

No. 2 7

道路の傷みが多く見られます

穴のあいた所は修理をお願いします

横断歩道、停止線、路側帯など

線がうすくあるいは消えている所が

あります。修理をお願いします

No. 2 8

茂名地区

市道 276 号線の横を流れる茂名川と市道の境に河川があることがわかる様に「注意灯」を設置して頂きたい。

特に夜間や大雨の時河川と市道がわかりづらく大変危険であるため。

※茂名区の入口から区民館前まで

No. 2 9

生活道路のコンクリート舗装がひどく割れて傷んでいたのが建設課に舗装工事をするように要望していたけど、いつになってもやるようすがないのでまた相談に行ったら区でやってもいいですよ、でも資材だけですよと言われました。すこしでも早くなおそうと区でやることにしました。資材だけでなく剥がしたコンクリートの廃棄物処理場所や重機代位いは出してくれるといいなと思っているのでよろしくお願い致します。

No. 3 0

旧中立ハトメから NTT 犬石無線中継所先までの道路を市道に昇格してほしい犬石区では、修理等に負担が多すぎる

旧ときわてい（犬石 178）横から旧房南保育園までの道路を市で修理してほしい理由は、昨年のべたこととおなじです。

No. 3 1

神戸分遣所の移転統合反対 神戸分遣所に救急車の配備を要望します。神戸、富崎地区は第1報が入電してから約20分弱かかります。神戸富崎神余地区から救急病院までの搬送時間も15分から1時間ほどかかるこれではたすかる命もたすかりません。

昨年12月15日の移転統合説明会で神戸各地区の代表者で、だれ1人賛成していた人がいなかったのにもかかわらず今年度の説明では候補地の話が出て来たがあまりにも神戸富崎地

区の住民の意見を無視してことが進んでいませんか。

100歩ゆずって布沼地区に移転統合するのであればまず道路の整備が完全に出来てから移転統合するのが順番でありあたりまえの考え方ではないでしょうか。あまりにも神戸、富崎、西岬地区の住民を軽視していませんか

No. 3 2

館山市の人口減少について

私は結婚を機に館山市に移住してきました。その時の館山市の人口は、約5万5千人だったと思います。以来36年余り、館山市の人口は減り続け、現在は当時と比べ1万人程減少しています。特に若者が仕事を求め東京や県北へと流出しています。私の子供も仕事のために東京や県北へと行きました。

館山は温暖で非常に住みやすいところだと思います。しかし、働く企業が少ない、そのために若者が市街へと出ていく、この事は人口減少の大きな要因と考えます。

人口減少について、市議会としてどのような対策を検討されていますか。

No. 3 3

国道410号線のごみについて

国道410号線の上真倉から藤原までの間の両脇にいつもごみが散乱しています。ごみが捨てられていればまた誰かが捨てるという悪循環が続き、現在の状況になっていると考えられます。

特に切割周辺は多くのごみが散乱しています。そして、この道路は観光バスのルートになっている道です。

この光景を見たバスの観光客は何を感じるのでしょうか？

また、雑草が道路を塞ぐように伸びており、事故が起きないのが不思議なくらいです。この道は、高校生も自転車で通学しています。

この現状を市議会は把握していますか？現状を把握していないのであれば現場を見て頂きたい。そして何らかの対策を検討されるよう要望します。

No. 3 4

やはり、自分たちの地区より出ている市議との関係が深い。区長会に毎回参加して下さり、各区長からの生の声を聞いて下さり、出来る限りの早い対応をして下さることは深く感謝しています。地域の環境整備（美）や道路整備等、大変世話になりました。今後、神戸のより豊かな生活向上の為に地域に密接な“何か”を考えてほしいと思います。

No. 3 5

3年前の台風による道路の両側のくずれ（市へは提出済み）に対する、対応が、何一つ進行しておりません。徐々にくずれが大きくなってきています。早く対応してほしいです。

Ⅲ 議会改革

No. 1

「議会への手紙」窓口 設置の提案

館山市議会では「開かれた議会」をテーマに「議会基本条例」を策定し、議会活動や議員活動、また議会が持っている情報を広く公開することで、市民が議会活動に興味を持ち、議会と市民がより一体となれるような取り組みが行われているとともに、市民の意見を直接議員の方々に聞いてもらえる貴重な場としての「議会報告会」も行われていましたが、令和元年の台風やその後のコロナ禍により開催できなくなり、その代わりにインターネットなどで市民の声を募集をしていました。

社会がこのような状況になって、あらためて議会への日常的な「窓口」として、市民がいつでも気軽に忌憚のない意見や質問などを届けたり、議会だよりへの意見や通告質問を拝見した後の疑問や意見なども受けることができる「市長への手紙」のような「議会への手紙」窓口があればいいと思います。

「市長への手紙」は、ホームページからメールで市民が直接市長へ意見や要望を伝えることができる窓口で、また文書でも届けられるように市役所市民課に専用のポストも用意されています。こういったサービスがあることは、市長がとても身近に感じられる、とてもいいサービスだと思います。

また「議会への手紙」は、市長への手紙のように全ての手紙に返事をするのが難しいようなら、受けるだけでも行っていただき、受けた意見をホームページなどに公開しながら議員活動に反映させていただければと考えます。

市民に最も近い存在の市議会へ身近な問題や議員活動などについて市民の意見・要望を伝え、市政に反映させてもらえるよう、敷居の低い、誰でもいつでも気軽に利用できるような「議会への手紙」窓口をご一考いただきたく、お願いいたします。

No. 2

議員報酬の改善

現在館山市議会議員の月々の報酬は350,000円と聞いております。政務活動費が年間で1人100,000円、年間で500万円程度だと思っております。

やはり、魅力ある報酬に能力のある人間が集まると言う私の持論ですが、そのことから言えば年間で700万円程度は妥当な線ではないかと思えます。

現在18年体制で運営をしておりますが、報酬総額は維持しながら議員数を削減していくことで実現可能ではないかと思えます。

No. 3

市長・議員の報酬を明白にするべき。

No. 4

○市民の意見や要望を聞き、議会として市に政策を提言するなど市政に対する監視機能と政策提言などの機能を発揮してほしい。

No. 5

人口に対する議員数が多すぎる。5割削減は出来ないのか？